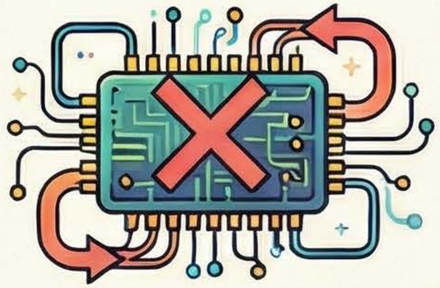
AGI開発、2年短縮？革命的AI手法「エッグロール」登場

AI開発のこれまで：スケーリングの壁



パックプロパゲーションの限界

問違いを教え込む手法は、計算が非常に重く、モデルが巨大化するにつれ限界が見えていました。

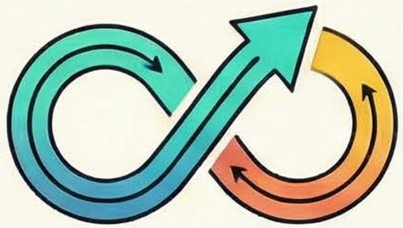
巨大データへの依存

AIを賢くするために、山のようなデータセットでの訓練が必須でした。

新時代の手法：「エッグロール」の革命

進化戦略 × 低ランク学習

AIが自ら試行錯誤して最適解を見つけるプロセスを、驚異的な速度と規模で実現します。



「フォワードパス」のみで自己進化

訓練と実際の利用が一体化し、AIが自分自身を賢くするループを高速で回せます。

ブレークスルー

データ効率

少ないデータで賢くなる。従来手法に比べ最大10倍の効率。

汎用性

量子コンピュータなど、従来のAIが苦手とした特殊な領域でも動作可能。

理論的証明

計算負荷の高い完全な手法と、ほぼ同等の効果を持つことが数学的に証明済み。

AGI（汎用人工知能）への影響

AGI到達が「2年」早まる可能性

専門家たちの予測（2027-29年）を覆し、「2026年AGI誕」という新たなシナリオが浮上。

AIコミュニティの反応は二分

この技術に対し、期待と興奮の声が多数を占める一方で、慎重な意見も存在します。

NotebookLM